

議会と市民の交流コーナー

市議会では、広くご意見をうかがうため、市民のみなさまへクイズを出しています。第136号のクイズの答えとともに寄せられたご意見の一部を紹介します。



仕事上車を運転することが多く道路のデコボコが気になっています。大変な作業だと思いますが、道路の補修よろしくをお願いします。安全のためにも。(広田町女性 70代)

歩道にタバコの吸い殻が多くみられます。一年前の山火事のことが思い出されます。火を消したからいいではなく、一人一人の心がけが大切です。広報等で注意喚起してもらえたらと思います。(高田町女性 80代)



令和8年度国民健康保険税1人平均引き下げ15,000円は市民にとって負担が軽減されると思います。常々高いと思っていました。(高田町女性 60代)

がんばってます!に載っていた劇団☆ばばをぜひ見てみたいと思いました。これからも私達が知らないがんばっている人を紹介してください。(高田町男性 60代)



陸前高田市がこどもたち、若い世代、子育て世帯が暮らしやすい町になるようにがんばってください。(小友町女性 40代)

活動報告会する議員さんを増やしてください。(広田町女性 40代)



議会だよりクイズ

○の中にはどんな漢字が入るでしょうか?



5月29日に議場を訪れたのは○○小学校の児童たちです。

応募方法

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキ、FAX、メールのいずれかで応募してください。また市議会だよりを読んだ感想、市議会への意見・要望などを必ず記入してください。正解者の中から抽選で5人の方に粗品をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。) ※いただいた意見要望等は次回の市議会だよりに掲載することがあります。

あて先 〒029-2292 陸前高田市高田町字下和野100 陸前高田市議会事務局 宛
FAX 0192-53-1210 MAIL (こちらのメール送信フォームをご利用ください。)

しめきり 令和8年9月15日(当日消印有効)



議会だより第136号クイズの答え ○の中にはどんな数字が入るでしょうか?

第136号表紙の写真は○○保育所のこどもたちです。

答え 小友



表紙の写真

6月14日に行われた第12回川崎フロンターレにこにこサッカー教室。参加したこどもたちはみな楽しそうに取り組んでいました。

高田高校生が市議会を傍聴!

～ワークトリップで体験する「まちづくり」の最前線～

県立高田高校の生徒たちが、午前と午後の2班に分かれて、開会中の市議会定例会の一般質問を傍聴しました。これは様々な職場体験を行う「ワークトリップ」の一環として市役所を訪れた際、議場にも足を運んでもらったものです。普段はなかなか入る機会のない議場で、生徒たちは真剣な表情で議論に耳を傾けていました。



参加した
高校生たちの
生の声

市議会を実際に傍聴した生徒たちからは、緊張感あふれる現場への驚きや、これからのまちづくりに対する頼もしいメッセージなど、たくさん感想が寄せられました。

驚きと緊迫感!生の議論を肌で感じて

「市長さんや議員の皆さんが話している議会を間近でみて、緊張したけど凄いなと思いました」
「生で見て、テレビでは感じられない緊迫感を感じることができた」

難しいけど、伝わってきた「熱意」

「難しい言葉が多くて理解は大変だったけれど、これからの高田のために一生懸命議論していることはよく伝わりました。これからも頑張ってもらいたい」
「高校とは話し合いのレベルが違って、もっと聴きたくなりました」

貴重な体験を通して、まちをもっと身近に

「陸前高田市の定例会を傍聴できるという貴重な体験ができ、とても嬉しかった」
「どのような取り組みが行われているかを知ることが出来たので、とてもタメになった」



(令和8年度ワークトリップ・高田高校生感想より)